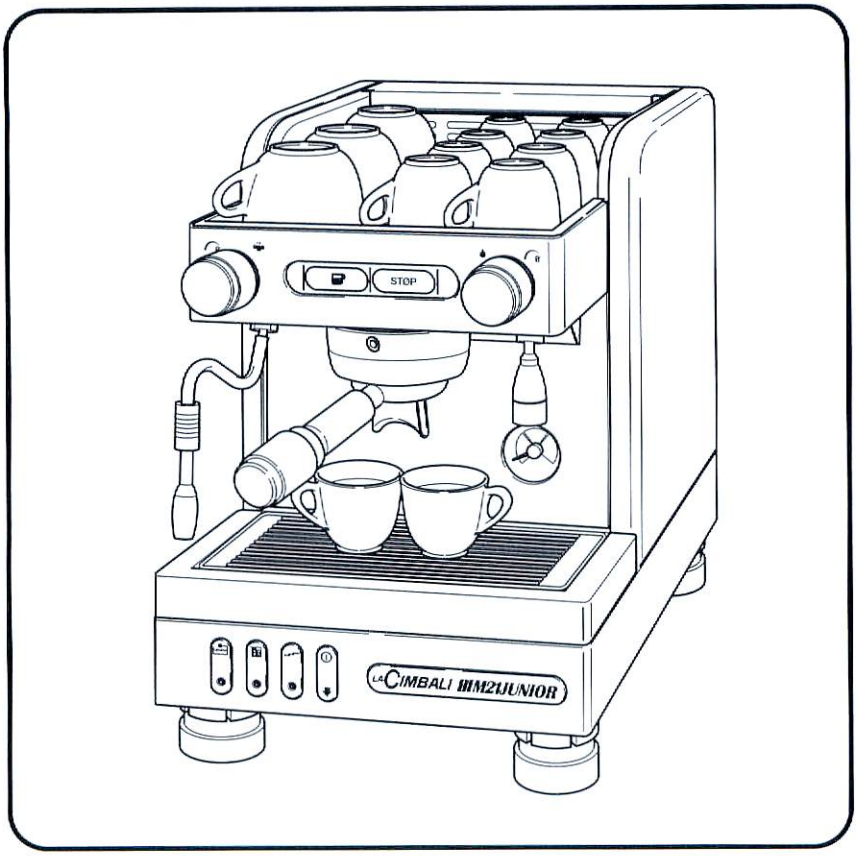
FOOD MACHINES INTERNATIONAL

エスプレッソコーヒーマシン【ラ・チンバリー】
M21 JU−S/1（業務用）

LA CIMBALI
取扱説明書



●このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシン（M21JU−S/1）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。

●保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目　次

安全上のご注意……1～7

仕様……8

各部の名称……9

据付けについて……10

操作手順……11～15

洗浄・清掃について……16～20

軟水器の再生方法……21

商品保証書……23

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠警告

●**据付けは、お買上げ店または専門業者に依頼すること**

ご自分で据付けをされ不備があると、感電、火災の原因になります。

専門業者

●**アース工事を必ずおこなうこと**

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
（電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。）

アース工事

●**本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること**

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

●**電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること**

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。

電気工事

●**屋外で使用しないこと**

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●**湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと**

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●**本体に直接水をかけないこと**

ショート、感電、漏電、錆、故障の原因になります。

水掛け禁止

●**電源コードを傷つけないこと**

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

⚠警告

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。

連絡

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

感電する恐れがあります。

接触禁止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検清掃

●異常時は電源スイッチを切り、電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

専用電源切

●ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

引火爆発し危険です。

ガス栓閉

●濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体のスイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡手禁止

●据付け後、貯水タンクに水を入れ、ボイラータンク内に初期給水すること

ヒーターが空焚きになって焼損し、火災の原因になることがあります。

初期給水

●熱湯栓および蒸気栓を操作するときは、熱湯ノズル、蒸気ノズルをドレンパンに向けること
また、顔や手などに向けないこと
やけどの原因になります。

ノズル確認

⚠警告

●熱湯ノズル、蒸気ノズルの金属部分に直接手を触れないこと

やけどの原因になることがあります。

接触禁止

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、感電・火災の原因になります。

改造禁止

●移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると感電、火災の原因になります。

専門業者

●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと幼児などがケガをする原因となります。

専門業者

⚠注意

●床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平据付

●直射日光の当たる所や、機械の周囲温度が３２℃を超える高温の場所には据え付けないこと

電気部品の故障の原因になります。

高温禁止

●本機の周囲は壁および物から100㎜以上あけること

熱がこもると電気部品に影響を及ぼし、火災の原因になります。

周囲空ける

●水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合な所では、防水処置をしてください。

防水処置

●機械の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

禁止

●給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること

他の水は、健康障害の原因になることがあります。

飲料水

●天板部にカップを置くとき、カップの水分を十分に拭き取ること

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

水分拭取り

●熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

⚠注意

●製品にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。

禁止

●ストレーナーの中には、コーヒー粉以外のものは入れないこと

本機は、コーヒー抽出を目的として作られています。それ以外の用途には使用しないでください。

コーヒー粉

●一日の営業終了後は、必ず接液部の部品は洗浄すること

洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

洗浄

●本体を清掃するときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグをコンセントから抜くこと

感電したり、やけどの原因になることがあります。

プラグを抜く

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁止

●洗剤を使った後は、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になることがあります。

洗い流す

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。

可燃物禁止

●定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

水入れ替え

⚠注意

●一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため本機専用電源を『OFF（切）』にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

●漏電遮断器は月に１回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

動作点検

●このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

仕様

品　　名	エスプレッソコーヒーマシン（ジュニア）
型　　式	M21 JU-S/1
タ　イ　プ	エスプレッソ１連＋蒸気１連＋熱湯
外形寸法	幅 320・奥行 510・高さ 430mm （突起物を含む 奥行 590mm）
電　　源	100V　50／60Hz
電　　流	11A
消費電力	1.1kW
ｴｽﾌﾟﾚｯｿ抽出能力	160杯／h　（30mL ／1杯で2杯取りの場合）
熱湯取出能力	8L／h（1.2L／回、復帰 約5分）
蒸気取出能力	連続
コーヒー抽出温度	約85℃
熱湯温度	約94℃
昇温時間	約20分
給水方式	貯水タンク式（タンク容量 3L）
電源コード	長さ：1.3m（プラグアダプター付）
質　　量	31kg

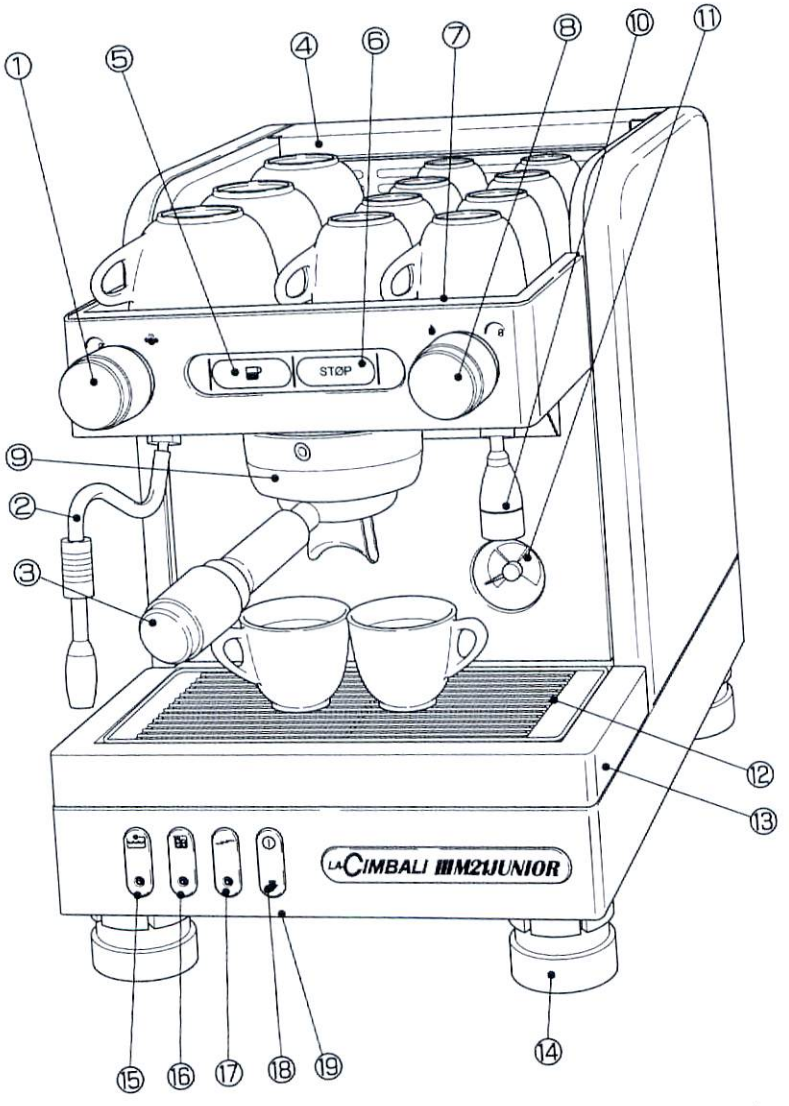
※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

1．エスプレッソ抽出容器（2人用）……1個
2．エスプレッソ抽出容器（1人用）……1個
3．エスプレッソストレーナー（2人用）……1個
4．エスプレッソストレーナー（1人用）……1個
5．粉計量スプーン……1個
6．粉圧縮器……1個
7．洗浄ブラシ……1本
8．エスプレッソ抽出器洗浄キャップ……1個
9．軟水器用ロート……1個
10．「テルキッチン」（酸素系漂白剤500ｇ入）……1個
11．取扱説明書……1冊

各部の名称

●本機は、エスプレッソコーヒーを抽出するコーヒーマシンです。



①蒸気栓
②蒸気ノズル
③エスプレッソ抽出容器
④貯水タンク
⑤エスプレッソ抽出スイッチ
⑥ストップスイッチ
⑦天板（カップテーブル）
⑧熱湯栓
⑨エスプレッソ抽出器
⑩熱湯ノズル
⑪ボイラータンク用圧力計
⑫ドレンプレート
⑬ドレンパン
⑭アジャスト脚
⑮給水中ランプ（赤）
⑯貯水タンクランプ（橙）
⑰ヒーターランプ（緑）
⑱電源スイッチ表示
⑲電源スイッチ

据付けについて

1. 水平で丈夫な調理台に据え付けてください。
   調理台が傾斜していたり不安定ですと、転倒する恐れがあり危険です。

2. 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。

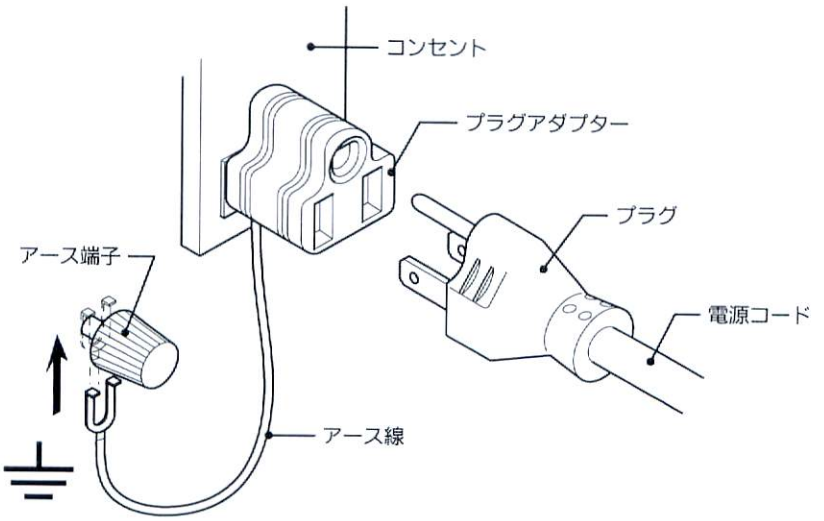
3. 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。（電源コードの長さ：1.3m）

4. 水のかからないところに据え付けてください。
   本体と電源コードに水が掛かりますと、漏電、感電の原因になります。

5. アースは必ず取ってください。
   アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。
   ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。
   アース線は、プラグアダプターより出ている緑色の線です。

6. プラグアダプターを電源コードの先から取り外し、本機専用のコンセントに差し込んで、アース線をアース端子に接続してください。

7. ご使用の際は、このプラグアダプターに電源コードのプラグを差し込んでください。



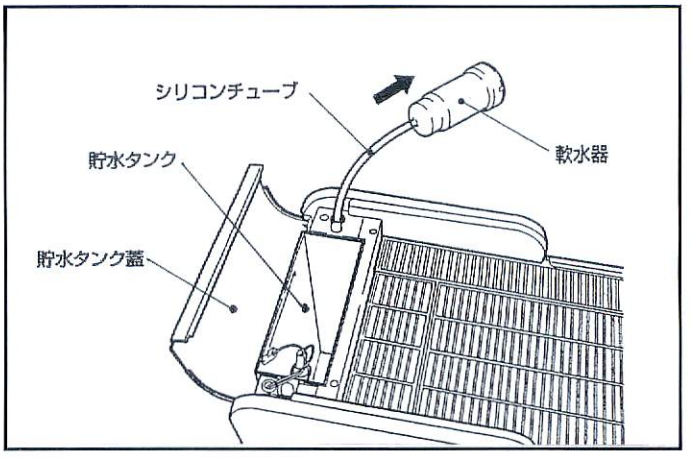
操作手順

A. 据付け時の初期給水について

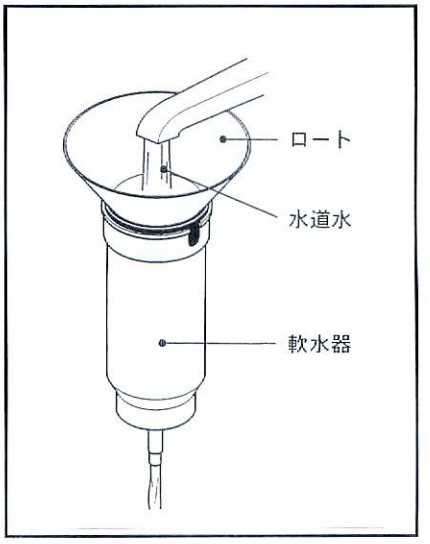
本機は、工場出荷時、ボイラータンク内を、凍結や輸送時の漏水防止のため水を抜いて「空」にしてあります。
本機の据付け時には、軟水器内部に水道水を通して洗浄してから、貯水タンクに水を入れてください。
電源を入れますと自動的にボイラータンク内に初期給水されます。

軟水器内部の洗浄のしかた

本機を初めてご使用になるときは、ご使用になる前に以下の手順で軟水器内に水道水を十分通して洗浄してください。



1. 貯水タンクの蓋を開けてください。
2. 貯水タンク内の軟水器を取り出してください。
3. 軟水器をシリコンチューブから抜き取ってください。
4. 軟水器に付属のロートを差し込んでください。
5. ロートの上から軟水器内に水道水を充分に流し込んで、軟水器内のゴミやホコリを流し取ってください。
6. その後、軟水器に元通りシリコンチューブを差し込み、貯水タンク内に納めてください。



●本機は工場出荷時、軟水器内は乾燥しています。
据付け後、軟水器に水を通さずに貯水タンク内に水を入れて「電源スイッチ」を入れますと、軟水器が水を吸い上げないことがありますので、上記の作業はご使用前に必ずおこなってください。

●軟水器の使用開始直後や、長時間使用しないで軟水器を貯水タンク内に入れたままにしておきますと、水が多少黄色っぽく色付くことがあります（軟水器内に入っているイオン交換樹脂が微量溶出するため）が、人体には害はありませんのでご了承ください。

初期給水のしかた

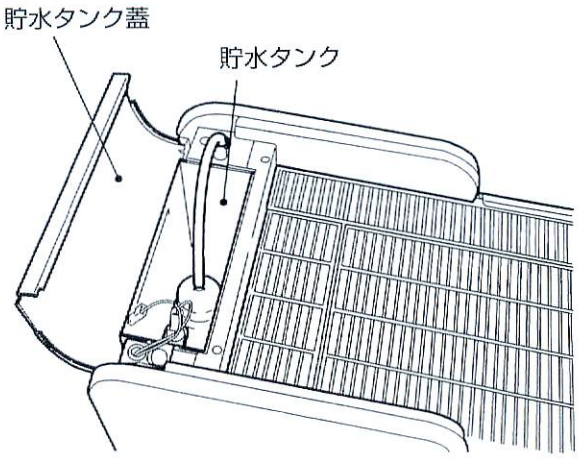
1．貯水タンクに水を約３Ｌ入れてください。

2．貯水タンクの蓋を閉めてください。

3．電源スイッチを入れてください。
電源スイッチは、電源スイッチ表示の下(本体の底面)にありますので、手前側に倒して入れてください。

4．電源が入ると、給水中ランプ(赤)が点灯し、貯水タンクの水がボイラータンク内に自動的に給水されます。
ボイラータンクが満水になれば自動的に昇温を始めます。その間、ヒーターランプ(緑)が点滅します。

5．昇温が完了すると(約２０分)、ヒーターランプ(緑)は点滅から点灯に変わります。



給水中ランプ(赤)

ヒーターランプ(緑)

B．始業時手順

1．電源スイッチを入れてください。
電源スイッチは、電源スイッチ表示の下(本体の底面)にありますので、手前側に倒して入れてください。

2．電源が入るとヒーターに通電され、昇温が始まります。昇温中はヒーターランプ(緑)が点滅しています。「ボイラータンク用圧力計」の指針が適正範囲(０．８～１．２bar)まで上がれば昇温が完了してヒーターランプ(緑)は点灯に変わります。
指針が適正圧力まで上がるのに、約２０分程度かかります。

メモ

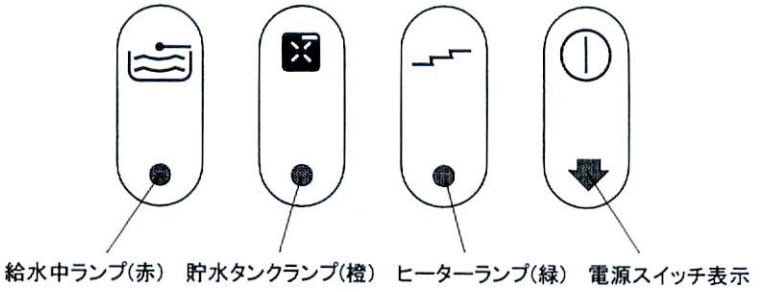
給水動作を開始してから、５分以内にボイラータンクが満水にならないと、給水中ランプ(赤)が点滅し、給水動作が停止します。
給水中ランプ(赤)が点滅しているときは、軟水器に詰まりがないことを確認してから、再度電源スイッチを入れ直してください。
繰り返しランプが点滅する場合は、お買上げ店へご連絡ください。

3. 電源を入れたときや使用中に、貯水タンクランプ（橙）が点灯したときは、貯水タンク内の水が空になっていますので、貯水タンクに水を入れてください。（３Ｌ以内）ボイラータンク内には自動的に給水されます。

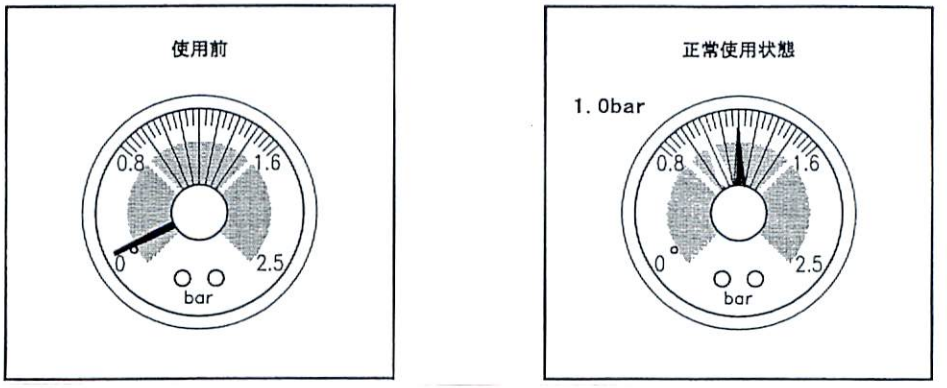
> **【注意！】**貯水タンクランプ（橙）が点灯しているときは、空焚きになる恐れがありますので、熱湯と蒸気は使用しないでください。

4. 天板（カップウォーマー）にカップを並べて伏せて置いてください。ボイラータンクの余熱でカップを温めます。カップの水分は十分拭き取ってください。

5. これで準備完了です。

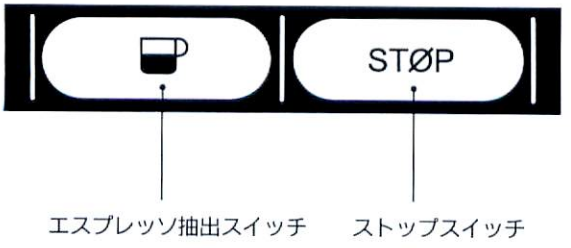


ボイラータンク用圧力計



C. エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

1. エスプレッソ抽出容器が冷たいときは、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、「エスプレッソ抽出スイッチ」を押して湯だけを出し、エスプレッソ抽出容器をあらかじめ温めてください。
（ストレーナーは、エスプレッソ抽出容器にセットしておいてください。）
抽出容器が温まったら、「エスプレッソ抽出スイッチ」を再度押すか、「ストップスイッチ」を押して湯の抽出を止めてください。



2. エスプレッソ抽出容器を抽出器より外してください。

3. エスプレッソ抽出容器のストレーナー内に、コーヒー粉を入れてください。
コーヒー粉量は、エスプレッソ挽きで約７ｇが標準です。（付属の粉計量スプーン１杯：約7ｇ）
◆当社のエスプレッソ専用ミルをご使用いただきますと、定量のコーヒー粉が簡単に取り出せます。

4. 粉圧縮器でコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。

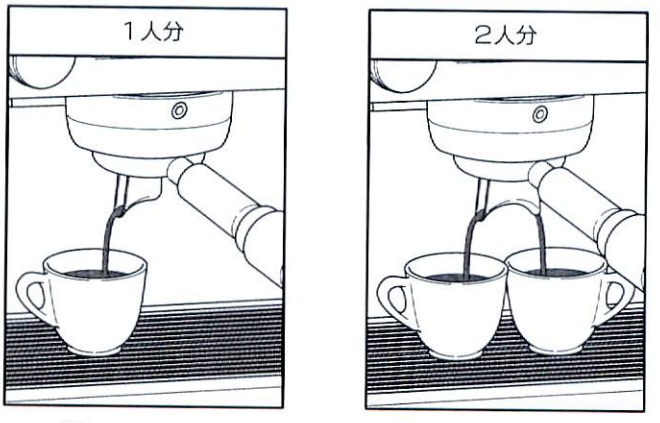
5. エスプレッソ抽出容器を左約４０°位の方向より抽出器に入れ、正しく納まれば、右方向へ止まるまで回してください。

6. 抽出口の下にカップを置き、「エスプレッソ抽出スイッチ」を押してください。

7. 適量のコーヒーが入れば、「エスプレッソ抽出スイッチ」を再度押すか、「ストップスイッチ」を押して止めてください。

8. 抽出後のエスプレッソ抽出容器内のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のため、次の使用時までそのままにしておいてください。

カップの置き方



	抽出容器	ストレーナー	コーヒー粉	カップ数
１人分の場合	１人用	１人用	１杯(7g)	１個
２人分の場合	２人用	２人用	２杯(14g)	２個

D. 熱湯の取り出しかた

1. 熱湯ノズルの下に熱湯を取り出すカップまたはポットを置いてください。

2. 熱湯栓を反時計方向に回して開け、熱湯を取り出してください。

3. 必要量の熱湯を取り出したら、熱湯栓を時計方向に回して止めてください。

E. 蒸気のつかいかた

1. 蒸気ノズルを、あらかじめドレンパンに向けておいてください。

2. 蒸気栓を反時計方向に回して開け、蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。

   ⚠ この時、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。

3. 蒸気が出るようになれば、いったん蒸気栓を時計方向に回して閉じてください。

4. 蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、コップをドレンプレートの上に置いてください。

   ⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

5. 蒸気栓をゆっくりと回して開き、飲料を温めてください。

6. 素手でかるく触れてみて、お好みの温度になったら蒸気栓を閉じてください。

7. 蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って、蒸気ノズルをコップから出してください。

8. もう一度蒸気栓を開き、ノズル内に付着した飲料を除去してください。
   そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり、不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

9. 蒸気ノズルに付着した液を、清潔な布で拭き取ってください。

お願い

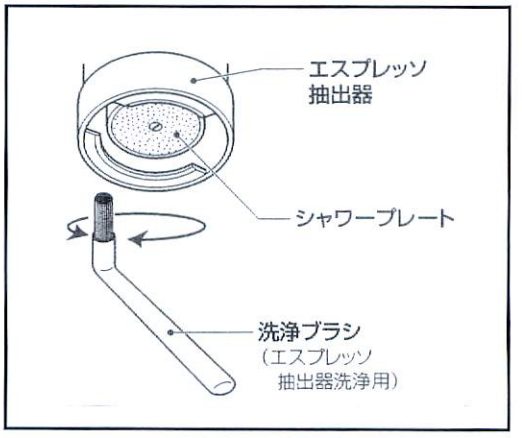
使用後、蒸気栓は必要以上に強く締め過ぎないでください。

洗浄・清掃について

終業時に毎日おこなう洗浄

A．エスプレッソ抽出器の洗浄

1．エスプレッソ抽出器より、エスプレッソ抽出容器を外してください。
コーヒーカスが残っていれば捨ててください。



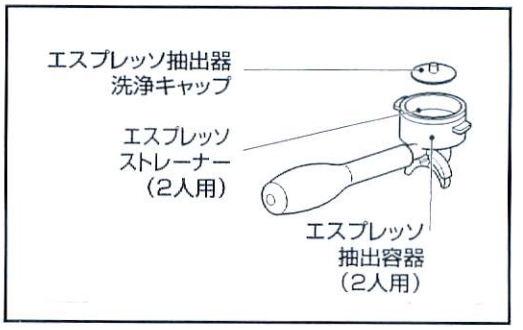
2．シャワープレートを予備洗浄してください。

1)付属の洗浄ブラシを使って、シャワープレート周辺に付着しているコーヒーカスを取り除いてください。

2)「エスプレッソ抽出スイッチ」を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。止めるときは、「エスプレッソ抽出スイッチ」を再度押すか、「ストップスイッチ」を押して止めてください。

⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

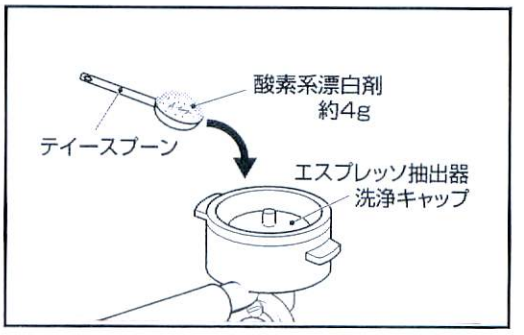
3．エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をしてください。



1)エスプレッソ抽出容器2人用に、エスプレッソストレーナー2人用をセットしてください。

2)エスプレッソストレーナーの中に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。

3)その中に付属の酸素系漂白剤「テルキッチン」をお手持ちの小スプーンに山盛り1杯（約4ｇ）を入れてください。



4．エスプレッソ抽出器内部を洗浄してください。

1)酸素系漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器を、エスプレッソ抽出器に取り付けてください。

2)「エスプレッソ抽出スイッチ」を押して熱湯を出してください。

3)約5秒後に再度「エスプレッソ抽出スイッチ」を押して熱湯を止めてください。抽出された熱湯が逆流して、酸素系漂白剤でコーヒーカスの詰まりやアクを取り除きます。

4)熱湯のみの抽出を5～6回繰り返して、エスプレッソ抽出器内に残った酸素系漂白剤の成分が完全になくなるまで十分すすぎ洗いをしてください。

5)その後、エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて熱湯を出して、パッキンについたコーヒーカスを洗い流してください。

⚠ 酸素系漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は、十分にすすぎ洗いをしてください。漂白剤の成分が残っていると健康障害の原因になることがあります。

お願い

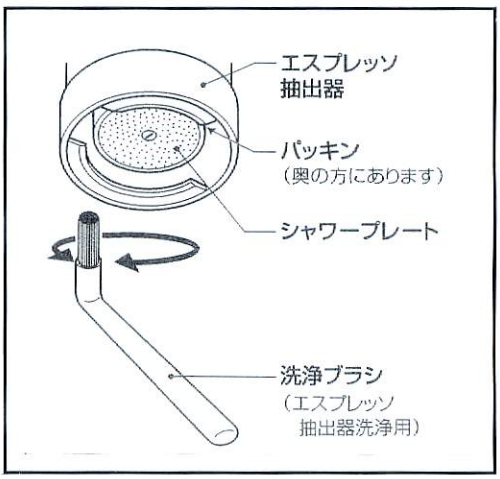
エスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットして、シャワープレート部を洗浄する際、圧力を逃がす安全装置（オーバープレッシャーバルブ）が動作します。
このとき、機械の構造上、内部より異音がでることがありますが、故障や、トラブルではありませんので、使用上問題はありません。なにとぞご了承くださいますようお願い申し上げます。

5. エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄してください。

1)エスプレッソ抽出器より、エスプレッソ抽出容器を外してください。

2)エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を、付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。

⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。
やけどの原因になります。

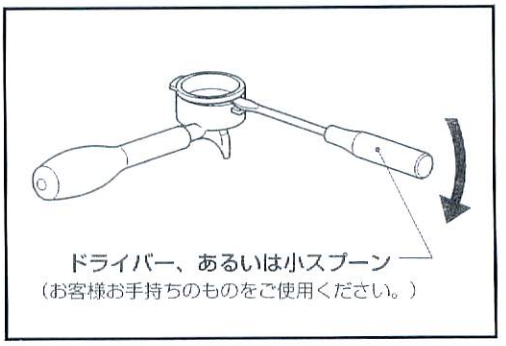


3)「エスプレッソ抽出スイッチ」を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。止める時は「エスプレッソ抽出スイッチ」を再度押すか、「ストップスイッチ」を押して止めてください。

⚠ すすぎ洗いをおこなわないと、酸素系漂白剤成分が残り、健康障害の原因になることがあります。

6. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください。

1)エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソストレーナーを取り外してください。
（エスプレッソストレーナーが固くて外れにくい場合は、お手持ちのドライバーなどを使って外してください。）



2)取り外した各部品を、食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗浄してください。、
洗剤を使用した場合は、十分にすすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

3)乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

7. 洗浄後は、エスプレッソ抽出容器（ストレーナーセット済み）を保温するため、必ず抽出器にセットしておいてください。

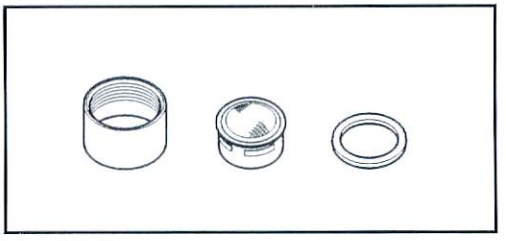
B. 熱湯ノズルの洗浄

1. 熱湯ノズルの先端部分を、時計方向に回して取り外してください。

2. 先端部分の部品を分解して、水またはお湯でていねいに洗ってください。

3. 乾いた布で水分を拭き取ってください。

4. 各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。



C. 蒸気ノズルの洗浄

◆蒸気ノズルは、ミルクなどの飲料を温めた後や終業時には必ず洗浄してください。

1. 蒸気ノズルの洗浄の準備をしてください。
約２００㎖の水を入れた容器に、蒸気ノズルの先を底まで差し込み、ドレンプレートの上に置いてください。

⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

2．蒸気ノズルの洗浄をおこなってください。

1)蒸気栓を反時計方向に回して開け、蒸気を出してノズル先端に詰まったミルクや付着液を洗浄してください。

2)蒸気が出始めて１０秒程度たったら蒸気を止めてください。

3)容器からノズルを取り出し、もう一度蒸気を出して、ノズル内の水分を除去してください。

4)蒸気ノズルを清潔な布などで拭いてください。

⚠ 蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。やけどの原因になることがあります。

D．貯水タンク内の洗浄

1．電源スイッチを切ってください。

2．貯水タンクの蓋を開けてください。

3．軟水器を貯水タンクより引き上げてください。

4．貯水タンク内の水をコップなどで取り出して空にしてください。

5．貯水タンク内の汚れや、ぬめりは清潔な布で拭き取ってください。

6．その後、アルコール除菌剤をスプレーして除菌を行ってください。

E．ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

◆**ドレンパン内は、営業中や洗浄中時々確認して、廃液が溜まっていたら溢れる前にドレンパンを取り外して捨ててください。**

1．ドレンプレート、ドレンパンを本体から取り外してください。

2．ドレンパンに廃液が溜まっていたら捨ててください。

3. ドレンプレート、ドレンパンをお手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

4. すすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に洗い流してください。

5. 乾いた布で水分を拭き取ってください。

6. 元通り本体に取り付けてください。

週に2～3回おこなう清掃

本体外装の清掃

◆週に2～3回、または汚れが目立ったときにおこなってください。

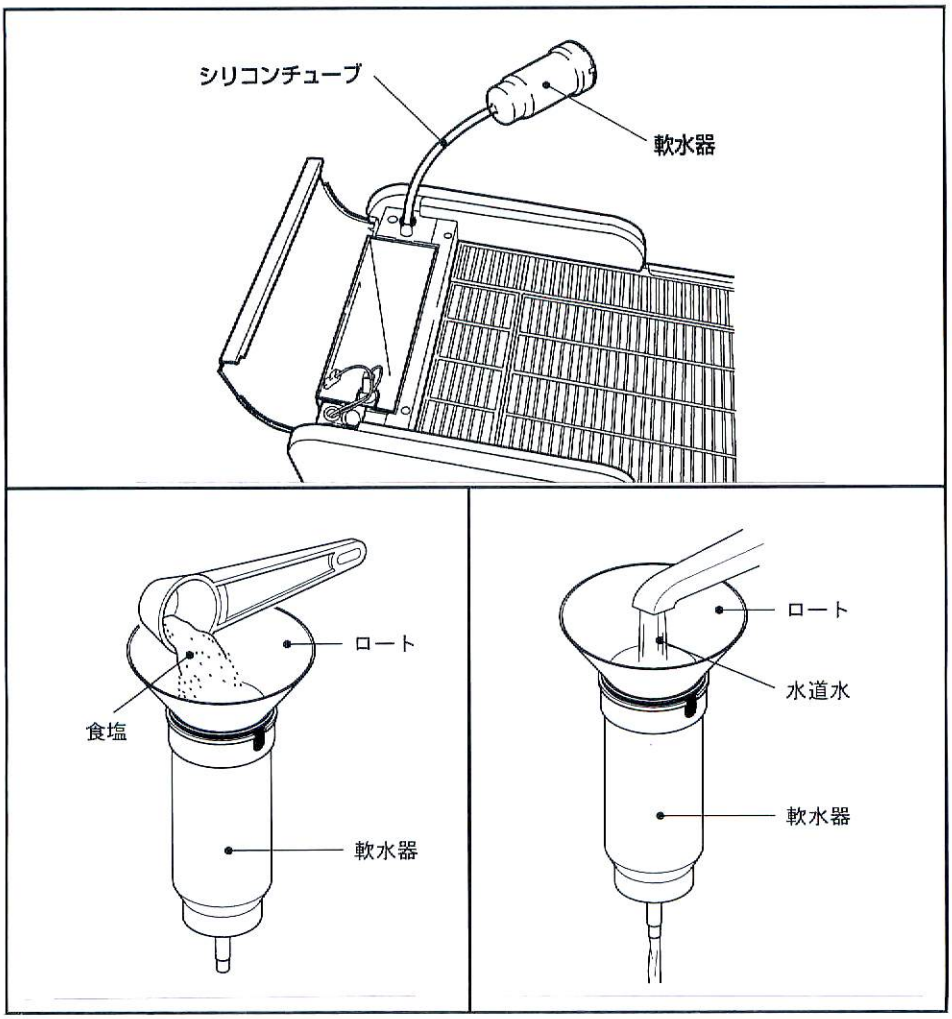
中性洗剤を使用し、柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

⚠ 本体に直接水を掛けて洗わないでください。
漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

軟水器の再生方法

【軟水器の再生は、使用頻度により異なりますが、目安として１ヶ月に１度おこなってください。】

1. 軟水器をシリコンチューブより外してください。
2. 軟水器に付属のロートをセットしてください。
3. ロートの中に計量スプーンで3杯の食塩を入れてください。
4. ロートの上から水道水を流してください。
5. 塩分が無くなるまで水を流し続けてください。以上で軟水器の再生は完了しました。
6. 軟水器にシリコンチューブをつなぎ、元の位置にセットしてください。
7. 軟水器の再生を行った後は、シリコンチューブ内のエアーを抜くため、エスプレッソ抽出器からお湯が出てくるまで「エスプレッソ抽出スイッチ」を何回か押してください。



メ モ

株式会社エフ・エム・アイ

東京本社：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目8番14号 Tel.03(3436)9470
大阪本社：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所
札　幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651
仙　台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711
名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891
広　島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855
福　岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

サービスステーション
盛　岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390
金　沢：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810
四　国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161
鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東日本修理センター：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ http://www.fmi.co.jp/

PD

Copyright (C) 2011 FMI Corporation.All Rights Reserved.